

# 研究実践

いわき市立平第二中学校教諭

吉田 徹郎

## 一、主題設定の理由

作文の学習において、生徒が書くべき内容を持つているにもかかわらず何を中心に置き、それをどう表現したらよいか分からぬという実態は、依然として存在する。生徒が毎年入れ替わるからである。このことから、中心になる内容を明確に押さえて書くべきことをがらをはつきりさせることの必要性を改めて感じたようになつた。

調査によると、本校生徒の要点を把握する力はあまり高くなない。そこで、説明的文章によって要点を確かに押さえ、指導を行い、中心文を設定することができるようにさせて、その上で文章を広げさせていければ豊かな表現が生まれてくるだろうと考え、標記の主題を設定した。

ただし、仮説の設定・検証は、段落の要点を確かに把握することに絞り、その指導結果を作文学習に活用することにした。

## 二、仮説の設定による研究の概略

段落の要点把握に当たって、いわゆる直感力に頼つて取り出すだけでなく、適切な方法で、しかも意欲的な学習をさせるために、次の仮説を設定した。

本論文は、昭和五十九年度公立幼・小・中・養護学校教職員研究論文の入選論文です。正確な論題は「表現に役立てるため段落の要点を確かに読み取らせる指導」です。診断カードによる個別指導、確かな研究技法による検証が高く評価されました。

説明的文章の段落の要点の読み取りにおいて、要点把握の方法を学び、生徒のつまづきを「診断力

一ド」によつて明示して、それに応じた個別的な治療をしてやれば、確かな要点把握ができるだろう。

### 1 要点把握についての説明

要点把握のための読み取りの方法を、例えば、中心語句・中心文・文の連接関係・文章構造などの基本的な読み取り方を事前または本時において範例的に学ばせる。

### 2 「診断カード」(資料1)

生徒が把握した段落の要点を記入させ、読みのつまずきがどこにあるかを明示して学習の仕方をわからせ、進んで取り組めるように意図したカード。

#### (一) 指導の力点

がり」とし、順接・逆接など、それが

※「縦と横の関係」……前の文と後の文とのつながりを示すもの。例示・言

い換え・並立・説明など、事柄や論理

が発展的に進んでいない時「縦のつな

がり」とし、順接・逆接など、それが

関連語句の把握、接続語や指示語の働き、主語・述語の適切な指摘

#### (2) 文章の展開

文と文とのつながり(前の文と後の文との接続の型)、「縦と横の関係」に基づく文章展開の仕方

① 語句の相互関係

互の関係や文相互の関係をしっかりとつかむことが大切と考え、特に中心文を正確に押さえさせるために、主として次の点に力点を置いた。

資料1 「診断カード」記入例

		No.2												No.1									
		診 断 結 果												診 断 結 果									
評2	書き換え要点	評1	要点	⑨・⑩段落の要点読み取り	学習診断カード	二組	31番	氏名	佐藤 恵子	⑨・⑩段落の要点読み取り	学習診断カード	二組	31番	氏名	佐藤 恵子	⑨・⑩段落の要点読み取り	学習診断カード	二組	31番	氏名	佐藤 恵子		
先生から 学習反省記録らん	あなたの 読み直した結果、9段落の図式化もでき、「そこで」の働きにも注目で 縱と横の関係を考え直したら、この方がよいと思いました。	先生から 恵子さんへ	人間は洪水を防ぐために堤防を築いた。その結果、川の水は、定められた水路を以前より激しく流れ下ることになつてしまつた。	後半はとても良いのですが、前半書き直してみるといいですね。 大変きれいに書かれていますよ。	人間が川の流域に住みつき、家をたてたりすると、川の水は、定められた水路を以前よりも激しい勢いで流れ下ることになつた。	9段落と10段落の中心文を見つけ る。前半「……すると」までは、 中心文かな。9段落を考え直して みよう。まとめる働きをする言葉 に注意して「縦と横」で表現して みよう。	9段落と10段落の中心文を見つけ る。前半「……すると」までは、 中心文かな。9段落を考え直して みよう。まとめる働きをする言葉 に注意して「縦と横」で表現して みよう。	9段落と10段落の中心文を見つけ る。前半「……すると」までは、 中心文かな。9段落を考え直して みよう。まとめる働きをする言葉 に注意して「縦と横」で表現して みよう。															

(実際のものは、西洋紙1枚の大きさ)